

# 利根川水系 中川・綾瀬川ブロック河川整備計画(変更)概要版 (一級河川 大場川)

## 一級河川大場川の概要

### 流域および河川の概要【変更なし】

大場川は、首都圏の市街地を緩流する一級河川中川の支流である。埼玉県吉川市にその源を發し、途中右岸から西大場川、左岸から東大場川を合流させ、常磐自動車道及びJR武蔵野線を横断し南下して第二大場川と合流し三郷放水路を伏越する。さらに、流路は南下したのち、東京都葛飾区との県境の近くで流行を変え、中川に合流する一級河川である。この流域は江戸川右岸と中川左岸の堤防に囲まれた不規則な長方形をしており、地勢勾配が1/7,500程度の緩勾配であることや、地盤沈下が進行したことなどから、小降雨でもしばしば浸水被害が生じている。一方で、川幅に余裕のある大場川の下流では、人々のウォーターレクリエーションの要請に応え、プレジャーボートの施設として、また不法係留対策の一環として「大場川マリーナ」が整備され、利用されている。

## 河川整備計画の変更理由

一級河川大場川の下流域は大雨のたびに河川水位が上昇し家屋が浸水するなど被害に悩まされてきた。また、大場川流域は中川や江戸川に囲まれた低平地であり、大場川の洪水を江戸川に排水するため、大場川下流排水機場が整備されている。このような状況の中、平成25年10月の台風26号及び平成27年9月の関東・東北豪雨で浸水被害が発生し、下流域の早期の浸水対策が喫緊の課題となっており、地元からも大場川下流排水機場の増強が要望されている。そのため、既存施設の大場川下流排水機場を増強し浸水被害の早期軽減を図るため河川整備計画に位置付けることとなった。

## 河川整備計画の目標に関する事項

### 計画対象期間【変更なし】

計画対象期間は、計画策定から概ね30年の期間とする。ただし、本計画はブロックの社会状況、自然状況、河道状況などの変化や新たな知見・技術などの変化により、適宜見直しを行う。

### 計画対象区間【変更なし】

河川整備計画の対象とする区間は、中川・綾瀬川ブロックにおける全ての一級河川の埼玉県管理区間とする。

<大場川の計画対象区間>

上流端	下流端	河川延長 (m)
右岸 吉川市大字平沼字多いと切194番地先	中川への合流点	16,800
左岸 同市同字同字210番地先		

<大場川下流域における近年の浸水被害発生状況>



## 河川整備の実施に関する事項

### 河川工事の目的、種類

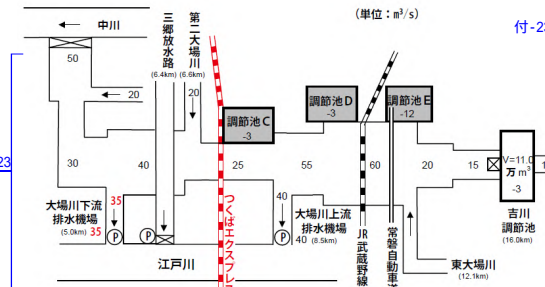
中川合流点から葛三橋(三郷市)までの区間及び吉川調節池越流堤付近については、整備が完了している。本計画では、吉川調節池越流堤付近を除く葛三橋から県管理区間上流端までの区間について、整備目標流量を安全に流下させるため、築堤や河床掘削により河積の増大を図り、河道のピーク流量を低減させるため、調節池の整備や排水機場の増強を行う。

### 工実施区間と内容

河川工事の場所	延長 (km)	河川工事の内容	
		治水に関すること	河川環境に関すること
葛三橋下流(1.50km) ～吉川調節池越流堤下流(16.00km)	14.50	築堤、河床掘削、護岸、調節池、排水機場増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の利用など自然に優しい水辺づくり</li> <li>・自然環境に配慮した調節池整備</li> </ul>
吉川調節池上流(16.20km) ～上流端(16.80km)	0.60	築堤、河床掘削、護岸	
小計	15.10		

### 【留意点】

護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。



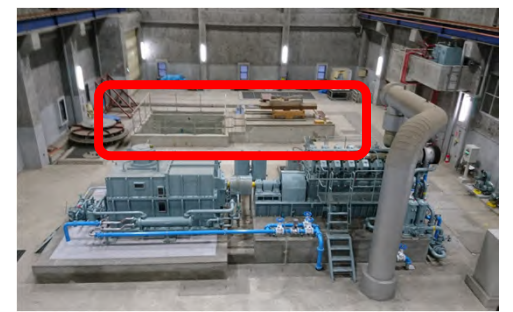
流量配分図



大場川整備平面図



大場川下流排水機場



排水ポンプ増設予定箇所